

平成17年度ティーチング・アシスタント表彰

去る2月3日(金)1年生のティーチング・アシスタント(TA)の中から最も活躍した10名が表彰され、授業料の一部免除の特典が与えられました。

2年生に進級してからも益々の活躍を期待しています。



長谷川 忠宏 宮浦 沙綾香 女池 明子
伊藤 亜耶 久保 良子 鈴木 陽介
富田 ひかり 兵藤 悠一 藤井 知子
若林 敦子

☆ティーチング・アシスタント(TA)とは・・・

大学・短期大学卒業生、社会人経験5年以上の方、または子育て経験のある方を対象に選考し、授業補助を行ってもらう制度です。

学生アドバイス・オフィス

アドバイス・オフィスでは学生たちの悩みや解決できない問題を一緒に考え、問題を解決するための考え方、方法、手段をアドバイスします。専門家に相談してみると簡単に解決できるかもしれません。個人情報には絶対に漏れることはありません。

*スタッフ：亀井 哲宏 富岡 麻由子 三澤 裕見子 杉本 信 児島 智美 小林 志郎

学生傷害保険

本校では、学生全員が入学時に学生傷害保険に入っています。学校管理下におけるケガや事故に対し、2年間保障されており、次の項目において適用されます。

- ・本人がケガをしたことによる通院、入院または死亡した場合。
- ・他人にケガをさせたり、過って器物を破損した場合。

☆ケガをした時、させた時はすぐに教務課まで連絡して下さい

来年度入学希望者対象説明会

平成19年度に向けた第1回学校説明会を5月13日(土)午後2時より大ホールに於いて行います。平成19年度用学生募集要項は既に出来上がり、4月1日からAO入試のエントリーも受付を開始いたします。

学生の皆様で後輩や友人など、身近に受験を考えている人がいましたら、是非参加を勧めてください。

Campus Newsへのご意見・投稿募集!!

学生・教員の皆様からの情報やご意見を募集します。投稿に関してはこちらで選定をいたしますので学籍番号と氏名を明記して下さい。アドレス: info@nichion.ac.jp



学園記念ホール
ステンドグラス



Information From

Nichi-On

—創立103周年—

since 1903

The Campus News 4月号

2006. 第117号

編集発行 学園事務局

日本音楽学校 幼児教育科 学生向情報

《4~6月の行事予定》

1年生	2年生
4/5(水) 入学式	4/3(月) オリエンテーション/教科書販売
6(木) 教科書販売	4(火) 前期授業開始
7(金)~11(火) オリエンテーション	14(金) 健康診断
12(水) 前期授業開始	28(金) 1年生宿泊研修の為休講
14(金) 健康診断	29(土) みどりの日(休校)
28(金)~29(土) 宿泊研修:山梨県西湖	5/3(水) 憲法記念日(休校)
5/3(水) 憲法記念日(休校)	4(木) 国民の休日(休校)
4(木) 国民の休日(休校)	5(金) こどもの日(休校)
5(金) こどもの日(休校)	23(火) 実習オリエンテーション
6/10(土) 実習前授業終了	6/3(土) 実習前授業終了
12(月)~23(金) 観察実習(保幼)	5(月)~30(金) 実習
26(月) 授業再開	7/3(月) 授業再開

行事予定は追加・変更になることがありますので学内掲示等に注意して下さい。

指導教員

幼児教育科

科長 杉本 信(心理学)
副科長 穂田 みづほ(舞踊表現)

ホームルーム担当

保育士コース

2年+1年 ○亀井 哲宏(障害児保育)
密城 吉夫(保育実習)
諸井 泰子(ピアノ)

保育士・幼稚園教員コース

2年A+1年1 ○富岡 麻由子(教育学)
杉本 信(心理学)
2年B+1年2 ○陸路 和佳(ピアノ)
穂田 みづほ(舞踊表現)
並木 真理子(幼稚園実習)
2年C+1年3 ○山本 直樹(総合演習)
三小田 美穂子(声学)
三澤 裕見子(文学)

[幼児教育実践総合センター]

センター長 諸井 泰子
並木 真理子 富岡 麻由子
亀井 哲宏 密城 吉夫
小林 明子 石塚 広美

新任教員

講師 齋藤 秀俊:愛知教育大学大学院修
「臨床医学概論・社会福祉」
中目 ますみ:大阪音楽大学卒
日精研心理臨床学院卒
「芸術セラピー概論」
「芸術セラピーの理論と技法」
谷 関 薫:韓国淑明女子大学大学院修
「造形表現指導法」

退任教員

専任 櫻井 剛
講師 瀬沼 幹太

ここに同窓会会長をはじめとして、多くの関係者のかたがたの臨席を賜り、日本音楽学校および東京聖星社会福祉専門学校の卒業式を挙げてきましたことは至上の喜びであります。厚く御礼申し上げます。

日本音楽学校の卒業生の皆さん、東京聖星社会福祉専門学校の卒業生のみなさん、卒業おめでとうございます。また保護者、ご家族の皆さん、知人、友人の皆さんにも心からお喜び申し上げます。

私が皆さんにお話するのも今日が最後の日となってしまいました。

みなさんは日本音楽学校や東京聖星社会福祉学校を卒業し、いよいよ社会へ旅立たれます。旅の神、メッセンジャーの神であるヘルメスが持つ金の杖や羽の生えたサンダルと同じように価値のある話をプレゼントできれば最高の喜びです。

皆さんはこれから新しい職業につきます。当然、一人前の職業人として、立派な仕事をしたと考えているでしょう。雇用主も諸君に高い職業能力や倫理を求めます。

しかし皆さんは素人です。素人であることは恥ずかしいことでも、卑下することでもありません。恐るべきは、素人であることを忘れることです。

「シェイクスピアも最初は素人だった」という言葉があります。彼は18歳のとき、アンという年上の奥さんと結婚し、ストラットフォード・オン・エイボンという田舎町からロンドンへ出てきて、売れない役者をやっていました。役者も素人、裏方としても素人。しかし他の劇場の芝居を見てきて、新しい劇に書き換えてしまう才能は群れを抜いていたそうです。そしていつの間にか自分のアイディアで劇を書くようになりました。

演劇人としての得意分野を捜し求めた結果、役者やプロデューサーでなく、劇作家を選んだのです。死後400年たった今でも、彼は世界の劇作家の頂点に立っています。しかしそういう彼も最初は素人だったのです。

素人であるあなたは、目の前のことに振り回されるでしょう。そして自分の姿を見失うこと

も多々あるでしょう。この危機を乗り越えるには、道は一つしかありません。それは目標を設定し、目標を達成するために生きることです。あなたは自分を1センチでも高みに登らせ、昨日より高邁な人間であるよう自己研鑽を続けることです。

一回、過去の自分、昨日の自分を振り返ったら、二回、明日の自分、未来の自分を見つめ、イメージを膨らますことです。

過去の自分には「言い訳」や「泣き言」が付きますといいますが、未来の自分には「自由」と「勇氣」が似つかわしいのです。

今日の自分、今の自分から明日の自分、未来の自分をイメージする人間だけが自分を見ることができると信じています。

有名な能楽師・観世寿夫は『心より心に伝ふる花』という著書の中で「演じている自分を見る」努力を教えられた。それはそんなに難しくはない。難しいのは、演じている自分を見つめている自分を見つけることだ」と語っています。

観世寿夫さんが言うように、ケアをしている自分を見つけることはそんな難しくありません。「子どもをケアしている自分を見つめている自分」を見つことがたいへんに難しいに違いありません。

あなたが子どもを見る。その隣にいるお母さんや家が見え、その隣にいる別のお母さんたちや家や町が見え、その町の続きの町々が見え、よく見るとお台場や山古志村や広島原爆ドームが見え、スマトラ沖地震で津波に破壊された町「バンダアチェ」の沈黙の風景が、ハリケーン「カトリーヌ」が襲ったニューオーリンズの町の時が止まってしまった風景が、今なおテロ行為や戦闘行為が絶えないイラクやパキスタンの路上を魂を吸い取られ、木偶の如く彷徨う子どもたちの姿が見えてくる。

そういう巨大な風景の中で保育をし、介護をしているあなたを見つめるバーチャルリアリティを感じ取る力を持って欲しい。

テレビやマンガに代表される大衆文化は心地よいし、知恵を授けてくれることもある。しかし子どもが求めているのは、決してそういう財産だけで裕福になったあなたではないでしょう。子どもが求めているのは、諸君の知、悟性、美意識をもって、子どもの内なる声や自然界の鼓動を感じとることのできるみなさんの心ではな

いでしょうか。

そのような風景と心の秘密を天才童謡詩人・金子みすずは次のように読んでいます。亡くなったローマ法王ヨハネ・パウロ2世もこの詩を読みたく感動したそうです。

みすずは1903(明治36)年、山口県に生まれました。1903とはどういう年であったか。

そうです日本音楽学校が神田錦町3丁目に音楽遊戯協会として誕生した年です。1930(昭和5)年、26歳の若さで、この世を去りました。

はちと神さま

金子みすず

はちはお花のなかに、
お花はお庭のなかに、
お庭は土べいのなかに、
土べいは町のなかに、
町は日本のなかに、
日本は世界のなかに、
世界は神さまのなかに。

そうして、そうして、神さまは、
小ぢなはちのなかに。

あなたは花なのでしょう。そして子どもという蜂を花卉の中に抱いているのでしょうか。そして、そしてあなたが抱いている小ぢな子どもの中に神は宿っているのでしょうか。そう

平成17年度 卒業式

3月8日(水)三浦記念ホールにて日本音楽学校・東京聖星社会福祉専門学校の合同卒業式が行われ保育士コース25名、保育士・幼稚園教員コース名125、合計150名の卒業生が巣立っていきました。

表彰された方は次の方々です。

答辞・優等賞:森 千春

優等賞:大貫 真理子

全国幼稚園教員養成機関連合会表彰:壺谷 聡美

全国保育士養成協議会表彰:小鍛治 博昭

児童厚生員養成課程連絡協議会表彰:矢谷 香央理

に違いありません。皆さんは素晴らしい仕事を選んだのです。

こころ

金子みすず

おかあさまは
おとなで大きいけれど、
おかあさまの
おこころはちいさい。

だって、おかあさまはいいました、
ちいさいわたしでいっぱいだって。

わたしは子どもで
ちいさいけれど、
ちいさいわたしの
こころは大きい。

だって、大きいおかあさまで、
まだいっぱいにならないで、
いろんなことをおもうから。

学生のときは、諸君はちいさい子どもでいてもよかった。もう明日からはそれは許されません。うっかりするとちいさい心の持ち主と呼ばれる危険性があるのです。

どうか、一つのことでこころが「いっぱいにならないで、いろんなことを思う」ことができる子どもの心、素人の心を大切にしてください。

平成18年度 新入生 幼児教育科

保育士コース 24名(内男子 6名)
保育士・幼稚園教員コース名 98名(内男子 41名)

計122名(内男子 47名)

